

公開シンポジウム「今、日本の宇宙戦略を考える」京都会場開催について

概要

第7回宇宙政策委員会で報告したように、10月28日に松本紘、川口淳一郎の二人を「呼びかけ人」とし、京都大学宇宙総合学研究ユニット、和歌山大学宇宙教育研究所、日本航空宇宙学会、日本学術会議の共催による公開シンポジウム「今、日本の宇宙戦略を考える」を10月28日に東京大学本郷キャンパスにて開催したところだが、その続編となる同名のシンポジウムを11月11日に京都大学芝蘭会館にて開催した。内閣府宇宙戦略室にも後援を頂いた他、今回からいくつかの団体・企業にも協賛を頂いた。目的は前回と同じく、科学技術、産業、安全保障など、所謂宇宙分野外の方を含めた様々な有識者の方を交えて、日本の宇宙戦略について議論するためである。当日参加者は約110名であった。11月25日に九州でも同じテーマで異なる講演者を招いて開催の予定である。

講演者及び総合討論登壇者

- ・ 西本 淳哉 内閣府 宇宙審議官・宇宙戦略室長
「我が国宇宙政策の課題と方向性」
- ・ 石川 容平 京大生存圏研究所・特任教授、元（株）村田製作所・シニアフェロー
「世界和平と持続発展に貢献する宇宙の新事業分野」
- ・ 五代 富文 IAF 国際宇宙航行連盟元会長
「中長期目標として 再使用型の宇宙活動へ」
- ・ 永原 裕子 東京大学 大学院理学系研究科教授
「宇宙科学の役割と課題」
- ・ 藤原 洋 (株)ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長 CEO
「インターネットの発展から見た宇宙開発の産業化」
- ・ 橋本 靖明 防衛省防衛研究所 政治・法制研究室長
「宇宙開発利用と安全保障」
- ・ 加納 圭 滋賀大学教育学部講師、京都大学 WPI-iCeMS 特任講師、RISTEX
「宇宙戦略における国民対話の意義と課題」
- ・ 総合討論登壇のみのゲストとして、城山英明（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、柘植綾夫（日本学術会議フロンティア人工物分科会委員）の両氏にもご登壇頂いた他、コーディネータは池上徹彦氏（元文科省宇宙開発委員会委員長）に務めて頂いた。

主な議論

- ・ 産業化についての議論が多く交わされた。裾野を拓げるためにデータ公開や法整備が必要という意見や、エネルギー政策など国が抱える重要問題に宇宙がどう答えるのかという問題意識が挙げられた。
- ・ 輸送系については開発に時間がかかるため長期計画が必要なこと、核心となる技術を日本が持つておくことの重要性などの議論があった。
- ・ 全体として、産業化のみならず科学・探査の分野でも、データを公開して利用する人を増やして価値を持たせ、裾野を拓げることの重要性を述べる意見が多く出た。
- ・ フロアからは産業化の他、安全保障や射点整備等に関する質問、意見も出た。

次回の予定

日 時：平成24年11月25日13：30～19：00
会 場：九州大学箱崎キャンパス旧工学部本館1階113号室
主 催：公開シンポジウム実行委員会
共 催：日本学術会議フロンティア人工物分科会、京都大学、
日本航空宇宙学会、和歌山大学、九州大学
後 援：内閣府宇宙戦略室

次第

開催の挨拶 麻生 茂 九州大学航空宇宙工学部門教授
招待講演 國友宏俊 内閣府宇宙戦略室参事官
「我が国宇宙政策の新たな推進体制と新たな宇宙基本計画の検討状況」
基調講演 佃 和夫 三菱重工業会長
「講演タイトル TBD」
講 演 橋本 靖明 防衛省防衛研究所政治・法制研究室長
山根 一真 ノフィクション作家
池上 徹彦 元文部科学省宇宙開発委員会委員長
湊 宣明 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント
研究科特任准教授
八坂 哲雄 九州航空宇宙開発推進協議会 幹事長

総合討論

モデレータ 池上 徹彦 元文部科学省宇宙開発委員会委員長
ゲスト登壇者 浅田 正一郎 三菱重工業航空宇宙事業本部宇宙事業部長
中野 不二男 科学技術ジャーナリスト・京都大学特任教授
(佃和夫氏は総合討論はご欠席)
閉会の挨拶 川口 淳一郎 航空宇宙学会長/日本学術会議